

知恵と力を合わせて信州を元気に

MONTHLY REPORT

2025

月刊

# 中小企業レポート

8

No.585

活性化情報

長野県中小企業団体中央会

特集

未来のNAGANO創造県民会議と

信州未来共創戦略について



この夏、  
もつと  
プラスに

# 特別金利定期預金

年 **0.550%** (税引後 年0.438%)

2025年6月2日現在

【ご利用いただける方】個人のお客さま【お預け入れ期間】1年【お預け入れ金額】10万円以上【お取り扱い期間】2025年6月2日(月)～9月30日(火)

- 特別金利は、初回満期日までの預入期間に限らせていただきます。
- 定期預金を中途解約された場合は、当組合所定の中途解約利率により計算します。
- 店頭の商品概要説明書をご用意しております。
- 表示されている金利は2025年6月2日現在のものです。市場金利の動向により金利を変更する場合がございます。
- 初回満期日以降は、満期日当日の店頭表示金利にて継続となります。
- 窓口または担当者を通じてお預けいただいたものが対象となります。

詳しくは、窓口または担当者まで  
お問い合わせください。

 **けんしん** BANK

詳しくはこちら



知恵と力を合わせて信州を元気に

月刊 中小企業レポート

2025

8

No.585

- 2 **特集**  
未来のNAGANO創造県民会議と  
信州未来共創戦略について
- 8 **中央会インフォメーション**
- 9 **生産性革命と挑戦**  
北安醸造株式会社（大田市）
- 10 **ズームアップ！組合の魅力発見**  
飯山自動車協業組合（飯山市）
- 11 **わが社の経営戦略**  
民芸旅館深志荘（松本市）
- 12 **Go! 発酵バレーNAGANO**
- 13 **社労士が教える労務管理のポイント**  
月60時間を超える時間外労働の  
割増賃金率について



〈表紙写真紹介〉

小菅北竜湖に隣接する野沢菜発祥の里(宍)とみき漬物の野沢菜農園秋の収穫風景。本場野沢菜漬は晩秋の11月頃から収穫、漬け込みをし寒さが厳しい冬の保存食「食の伝統文化」として受け継がれてきました。漬け始めは緑色が残った浅い野沢菜漬から、だんだんと乳酸発酵が進み味わい深いべっ甲色の野沢菜漬まで、今でも冬の食卓には欠かせない郷土食として愛されています。

# 未来のNAGANO創造県民会議と 信州未来共創戦略について

人口減少や少子化が進む今、私たちの暮らしや働き方、地域のあり方も大きな転換期を迎えています。働き手が足りない、売上が伸びない、地域の活力が失われる——そんな不安や問題を抱えている企業は少なくないはずです。今後も人口減少が予想され、このままではさらに深刻な問題が増える可能性があります。

こうした問題を解決するためには、単なる少子化対策だけでは不十分であり、社会全体の構造を変えていく必要があります。

将来の世代のためにも、今を生きる私たちの責任として、明るい未来のビジョン（2050年のありたい姿）を実現するため、令和6年12月、「私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議」（以下、県民会議）を立ち上げ、「信州未来共創戦略～みんなでつくる2050年のNAGANO～」（以下、戦略）を策定しました。

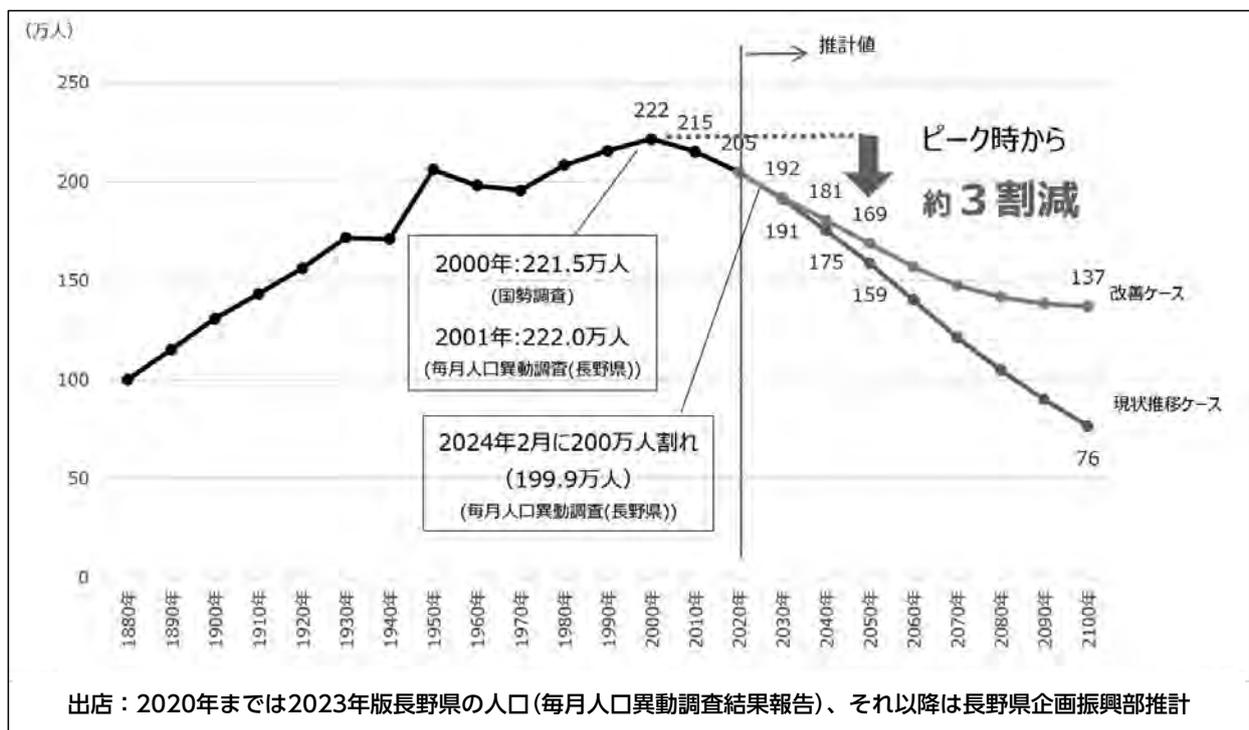
県民会議は、行政だけでなく、企業や地域、そして県民一人ひとりが主役です。あなたの声や行動（アクション）が、信州の未来を形づくる力になります。この特集をお読みいただき、少しでも関心を持たれた方はぜひ県民会議にご参加ください！

それでは、戦略の内容について以下詳しく説明していきたいと思います。

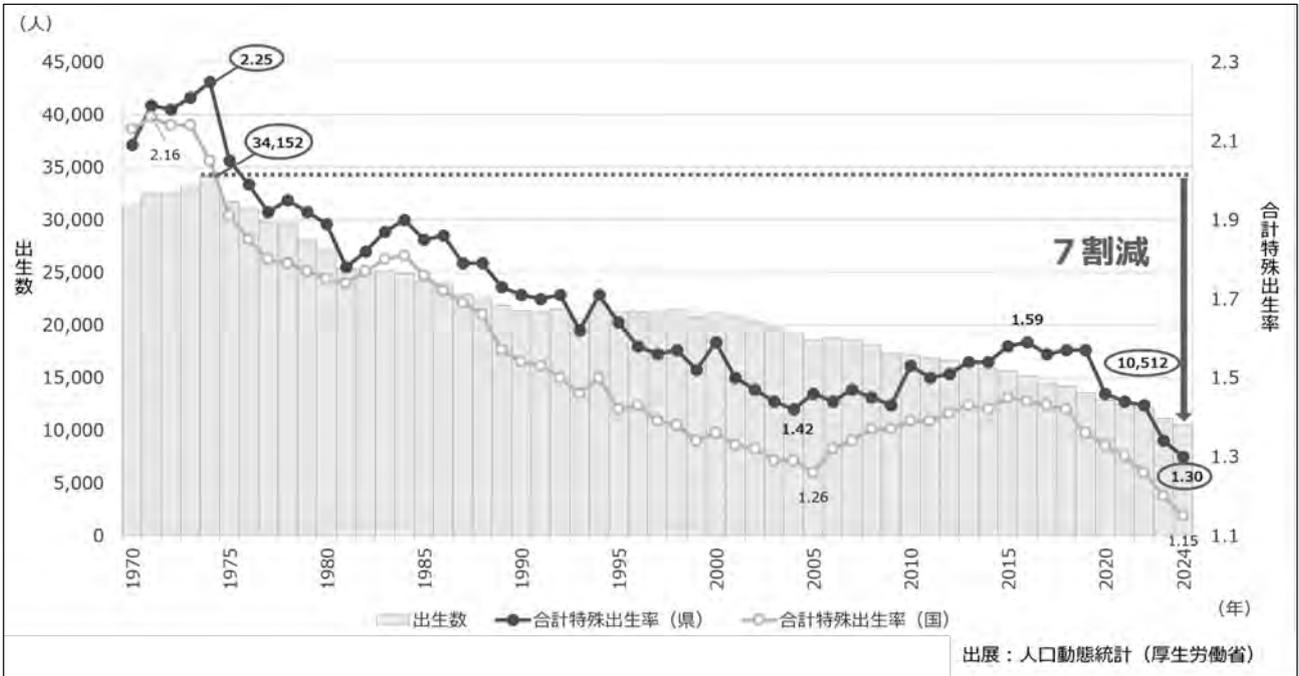
## 長野県の人口と将来推計 ～人口7がけ社会がやってくる!?～

戦略の説明に入る前に、まずは長野県の人口減少問題の現状を見ていきます。

長野県の人口は2001年の222万人をピークに右肩下がり、2024年には約50年ぶりに200万人を切りました。このままだと、2050年には159万人（改善ケースでも169万人）となり、ピーク時から約3割減少する「7がけ社会」の到来が予想されています。



また、長野県の合計特殊出生数は1.30と、全国を上回っているものの5年連続で低下しています。出生数は、第2次ベビーブーム以降ほぼ一貫して減少しており、その当時と比較して約7割減少するなど、急激な少子化に歯止めがかかっていません。

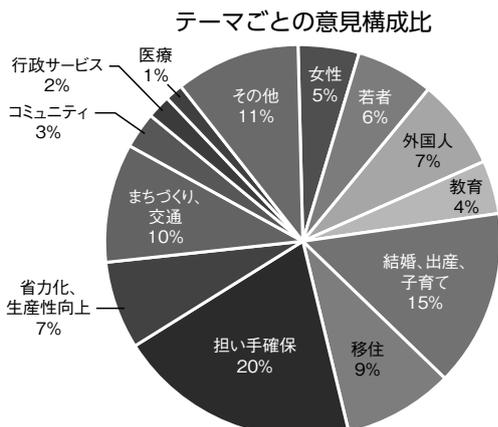


## 県民の皆さんと長野県の未来を考えました！

人口減少によって生じる様々な問題を解決するためには、行政だけではなく、産業界や地域、県民等が協働して取り組む必要があります。

そこで、令和6年4月から11月まで、県民をはじめ長野県に縁がある方々と約150回の意見交換を実施し、地域の課題や「2050年にありたい姿」を一緒に考えてきました。

- 【対象者】 県内在住者（学生、若者、女性など）  
各種団体、企業関係者 など
- 【期間】 令和6年4月から11月
- 【回数】 149回
- 【意見数】 1,913件
- 【参加人数】 2,872人



## 信州未来共創戦略～みんなでつくる2050年のNAGANO～

戦略は、県民の皆さんとの意見交換を踏まえて策定した、県民会議がこれから活動していくにあたり、行政・企業・地域・個人がみんなで同じ方向を向いて進んでいくための、いわば“羅針盤”となるものです。今の子どもたちが大人になる2050年にありたい姿と、そのために2030年までに達成したい目標を“旗”として掲げています。



### 1. 人口減少に伴う問題と将来への希望の種

人口減少は、これまでの働き方や暮らし方、そしてそれを支える価値観など、さまざまな要因が絡み合って起きている問題です。その影響は社会のいろいろな面に広がると考えられます。

人口が減ると、たとえば次のような問題がわたしたちの身の回りで起こります。すでに問題となっていることもあれば、これから深刻化するケースもあるでしょう。

- ・労働力人口の減少により、企業活動はもとより、医療・福祉、交通・物流など暮らしを支える活動も継続が困難
- ・消費者人口の減少により、産業の成長力・競争力が低下し、賃金も減少
- ・地域の担い手不足により、互いに支えあうコミュニティが弱体化
- ・高齢者の割合が増加し、若い世代の社会保障や税負担が増加
- ・インフラ（道路・上下水道等）や行政サービスの維持・更新が困難
- ・空き家や空き地が増加、スーパーや娯楽施設などが撤退

ただ、世界には長野県よりももっと少ない人口でも、高い幸福度や国民所得を誇っている国もあり、人口減少という社会の大きな構造変化は、科学技術の進展などと相まって、新たな希望を生み出す可

可能性があります。

- ・担い手の不足は、誰もが社会で活躍できるチャンスに
- ・子どもの数の減少は、個別最適な学びへの転換を促す好機に
- ・AI・ロボット技術等の飛躍的な発展は、人口減少の影響を緩和し、暮らしをより便利で快適に
- ・人口構成の変化は、新たなビジネスチャンスに
- ・社会保障関係費やインフラ維持の負担増大は、行財政改革やまちの再生を促す契機に

こうした可能性を活かして、希望あふれる明るい未来を実現していくことが重要です。

## 2. これまでの当たり前を考え直す

新しい時代をつくるためには、急激な人口減少を緩和するとともに、人口減少社会に適応し、未来に希望が持てる社会をつくる必要があります。これまでの当たり前を考え直し、こうした社会を実現するためには、行政、企業、地域、そして県民一人ひとりが一体となって同じ方向を目指して行動することが大切です。

## 3. 4つのテーマで考える「2050年にありたい姿」と「2030年の旗」

戦略では「若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり」「信州の強みを活かした移住・関係人口の増加」「安心・便利で持続可能な生活圏の整備促進」「変革期を乗り越える経営等の革新」の4つのテーマごとに、2050年にありたい姿と、2030年に目指す旗を掲げています。

人口減少はさまざまな要因が複雑に絡み合って生まれている問題で、その解決にも、何か1つだけでなく、あらゆる立場の人々が協力し合いながら、着実に向き合っていく必要があります。

**信州未来共創戦略**  
— 誰かなくつくる2050年のNAGANO —

**2050**  
ありたい姿

**2030**  
の旗

今の子どもたちが大人になる  
2050年に向け、  
2030年までに達成したい  
当面の目標  
(主なもの)

**寛容な社会づくり**  
① 若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり

- 若者 ▶ 若者の可処分所得が県民平均以上に向上
- 性別 ▶ 家事・育児時間の男女格差 2.0倍未満
- 子育て ▶ 男性の育児休業取得率 85%以上
- 子ども ▶ 全天候型の子どもの遊び場が増える
- 多様性 ▶ 無償で日本語や日本文化を学ぶ場がある
- 学び ▶ 最先端のSTEAM教育・英語教育

※STEM(科学[Science]、技術[Technology]、工学[Engineering]、数学[Mathematics])を統合的に学習する教育に、芸術[Arts]の創造性教育を加える教育手法

**まち・むらづくり**  
③ 安心・便利で持続可能な生活圏の整備促進  
～県土のグランドデザインを策定・実現しよう～

- ▶ 安心・便利で持続可能な県土のグランドデザインをつくる
- ▶ コンパクト・プラス・ネットワーク&レジリエンス<sup>®</sup>によるまち・むらづくりについて議論し、具体的な事業に着手

※住居や商業施設、公共施設等が適切に配置され、そこに交通ネットワークならびに情報ネットワークで利便性高くアクセスでき、防災力にも優れた環境を形成すること

**経営等の革新**  
④ 変革期を乗り越える経営等の革新

- 労働生産性・グローバル**
- ▶ 多くの事業所がDXやリスキリングを積極的に推進
- ▶ 訪日外国人旅行者の観光消費額 1,000億円
- 人材・省力化**
- ▶ 女性の就業率が70%以上とし、高齢者の就業率 全国1位を維持
- ▶ 法定雇用率適用事業所で雇用される障がい者数 9,000人以上
- 共創**
- ▶ 圏域ごとに行政体制のあり方について議論され、それを踏まえた取組が行われている

**信州暮らし**  
② 信州の強みを活かした移住・関係人口の増加  
～暮らし、つながる仲間を増やそう～

- ▶ 年間移住者数 10,000人以上
- ▶ 移住希望地ランキングで1位を獲得

## 4. 変革期を乗り越える経営等の革新

長野県には高い技術力を誇る製造業、豊かな自然環境や個性ある歴史・伝統文化などの地域資源を活かした観光業、標高差や寒暖差など変化に富んだ気候を活かした農業など、個性豊かな産業が存在しています。

もちろん、これらの産業にも、人口減少がさまざまな影響を及ぼします。変革期ともいえるこの時代をどう乗り越えていくか、戦略では3つの観点でまとめています。

### ○ 世界を視野に付加価値労働生産性を高めよう

人口が減ると消費者も減り、市場が縮小することで企業の収益が下がるだけでなく、設備投資の意欲が低下し、生産性の向上も難しくなります。これにより、国全体の競争力が低下し、賃金も下がる「縮小スパイラル」に陥るおそれがあります。

そうした中で、世界経済は今後も拡大し続けると予想されており、国内だけでなく世界に目を向けたビジネスが鍵となります。

一方で、日本ではデジタル化が進まなかったことや、賃金上昇を抑えて雇用を守り、モノやサービスの価格を抑えて仕事を確保してきたことが原因で、付加価値労働生産性は、OECD加盟国38カ国中31位(2022年)とかなり低い水準です。

こうしたデフレ的安定から脱するために、人口が減少しても持続的に賃上げや設備投資を実現していく「正のスパイラル」を生み出していくことが重要です。

### ○ 多様な人材の労働参加と省力化投資を進めよう

人口減少と高齢化に伴って、あらゆる業界で人材不足が深刻な問題となり、企業活動だけでなく、医療・福祉、交通・物流など私たちの生活に欠かせないサービスの維持も難しくなっています。

この問題に対しては、外国人を含めた人材の活躍、若者に向けた県内企業のPR、そして、AIやロボットの導入による省力化と業務効率化など、さまざまな角度からアプローチをしていく必要があります。

長野県には小規模事業者が多いため、地域や業種ごとに業務を共同化・外部化することや、事業承継やM&Aを活用した事業規模拡大の検討をすることも鍵となります。

### ○ 社会課題の解決のために様々な主体で共創しよう

77の市町村がある長野県は、全国的に見ると小規模な自治体が多い県です。人口減少が進めば、県や市町村では職員や財源の確保が難しくなり、小規模な自治体ほどその影響が大きく現れます。

一方で、長野県には県内全域に広域連合があり、市町村の連携ネットワークが整っているのが強みです。これを活かし、協力して人口減少に立ち向かっていくことが大切です。

さらに自治体だけでなく、企業やソーシャルセクターの共創を進めていくことで、社会的共通資本(公共交通・医療等)を維持・発展させるとともに、社会課題の解決に協力して取り組んでいきましょう。

## 私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議

県民会議は、戦略の実現に向けて、行政・企業・地域・個人が垣根を越えて集い、それぞれが主体的に行動(アクション)を起こすことを目的とした対話と実践の場です。

設立のためのキックオフ会議のほか、令和7年3月に全体会を開催し、延べ133名が参加しました。今年度は、県内10圏域での県民会議キャラバンも計画しており、さらに活動の輪を広げていきます。あなたも「私のアクション」を通じて、長野県の未来づくりに参加しませんか？

**参加者 団体：65団体 個人：72名 (2025/6/30現在)**

- 長野県
- 長野市長会
- 長野県町村会
- 長野労働局
- 県内市町村
- 産
- 官
- 学
- 金
- 言
- 労
- 県経営者協会等経済4団体
- 県農業協同組合中央会など
- 民放テレビ4局
- 新聞各社など
- 連合長野
- 八十二銀行

**その他** 県国際化協会、県医師会、  
県NPOセンター、県社会福祉協議会など19団体

**個人** 72名



### 「私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議」では、 会員を随時募集しています！

団体、個人を問わず誰でも自由に参加できます。

皆で一緒に学び、話し合い、アクションし、それをシンカ（深化・進化）

させていきましょう！



**お問い合わせ先 「私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議」事務局**  
(長野県 企画振興部 総合政策課内)  
TEL:026-235-7014 E-mail : my\_action@nice-o.or.jp

## 令和7年度 経営セミナーのご案内

### 基調テーマ「時代の変化に柔軟に対応する力ー省力化・生産性向上への挑戦ー」

#### ●開催にあたって

現在、少子高齢化による人材不足の深刻化、原材料・エネルギー価格等の高騰に伴う収益悪化など、中小企業にとって厳しい経営環境が依然として続いています。同時に、社会的要求が高まる脱炭素化・GX・DX等の諸課題、また従業員の働き方改革など、様々な経営課題に対応していかなければなりません。

このような中、中小企業は経営の維持・発展のため、新技術や生産設備への投資が不可欠です。また、自動化・省力化等の取組により生産ライン全体を改善し、品質・納期・収益性を向上させながら、自社の競争力強化に繋げていくことが成長の鍵になります。

本セミナーにご協力いただく企業様は、地域の核となるオンリーワン企業であり、優れた先見性と経営手腕のもと、卓越した技術、最適な生産体制を駆使して先進的なものづくりを行い、顧客ニーズ・時代に対応した製品やサービスを提供することで、確固たる地位を築いています。

今年度は、省力化や生産性向上に加え、人材育成活動等個性ある取り組みについて学ぶとともに、受入企業様より、企業価値を高める経営戦略・コア技術等のトップスピーチ、革新的な生産設備の現場視察を計画とした全7回の講座を開催し、参加される皆様の企業価値の向上に役立てることを目的としています。

#### ●開催方法

当事業は、以下カリキュラムの通り特色ある県内企業の視察をメインとして、参加される皆様の経営力向上・強化に役立てることを目的に実施しています。全7講座に年間会員登録をいただき、各講座の詳細を逐次ご案内いたします。講座毎のお申込みはできませんのでご了承ください。

#### ●カリキュラム ※開催内容につきましては予定であり、開催日・研修先様の変更・中止となる場合もございますので、ご了承ください。

開催月	テ ー マ	講 師	開催地	日時・会場
9月	2050年カーボンニュートラル社会の実現への取り組み	オリオン機械株式会社 代表取締役会長 太田 哲郎 様 代表取締役社長執行役員 片桐 智美 様	須坂市	令和7年9月17日(水) 午後1時30分～ オリオン機械(株)本社工場、 須坂インター工場
10月	技術と真心で明日をひらく	株式会社コヤマ 代表取締役社長 百瀬 真二郎 様	長野市	令和7年10月8日(水) 午後1時30分～ (株)コヤマ・本社工場
	工作機械ツーリング・パーフィード業界で世界のものづくりをリードする	株式会社アルプスツール 代表取締役CEO 網島 広顕 様	埴科郡 坂城町	令和7年10月15日(水) 午後1時30分～ (株)アルプスツール・第3工場
11月	「社員の幸せの増大」を経営の根幹に	伊那食品工業株式会社 専務取締役 塚越 亮 様	伊那市	令和7年11月5日(水) 午後1時30分～ 伊那食品工業(株)かんてんばばガーデン
12月	売上高100億円企業を目指す歩み	株式会社エーアイテック 代表取締役社長 大林 泰彦 様	松本市	令和7年12月3日(水) 午後1時30分～ (株)エーアイテック・本社工場
1月	地域のリーディングカンパニーに! 海洋から地上そして宇宙までものづくりで支える	株式会社協和精工 代表取締役社長 橋場 浩之 様	下伊那郡 高森町	令和8年1月(予定) (株)協和精工・本社工場
2月	サステナブルな成長と地域循環型企業を目指す	信菱電機株式会社 代表取締役社長 川手 清彦 様	飯田市	令和8年2月(予定) 信菱電機(株)本社工場

先進的な取り組みを行う県内企業を視察できる貴重な機会です。ご興味ございましたら、ぜひご連絡ください。

申し込み締切 令和7年8月22日(金)

お問い合わせ 長野県中小企業団体中央会 連携支援部 TEL：026-228-1171

# 生産性革命と挑戦

伝統的な手づくり製法と味にこだわり、  
生産性と酒質向上への投資で好業績続ける。

## 高付加価値化へ3回の投資

2024(令和6)年12月、こうじ菌を使った日本の「伝統的造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。もっとも国税庁によると、日本酒の課税数量は1973(昭和48)年度のピーク時(177万kL)から、2021年度には3割以下(40万kL)に減少。その一方で、純米酒や純米吟醸酒などの「特定名称酒」は増加傾向にあり、より高付加価値の商品の需要が高まっています。

北安醸造は特定名称酒に特化し、米作りから酒造り、出荷まですべて杜氏を含む社員や契約農家による伝統的な手づくり製法を守る酒蔵。機械化が可能でコストダウンや酒質向上につながる工程には積極的に設備投資を行い、「甘口」の個性的で味わい深い日本酒を製造しています。

2015(平成27)年に地下100m掘削し取水した水を蔵全体に配管。2017年には最も良い麴を作るため、米をつねに安定した水分量で蒸すことを可能にする吟醸用こしきを導入しました。そして2024年、酒本来の旨味と香りを減らすことなく濾過を可能にしたSFフィルターと、絞った後の生酒の温度管理を行うファーストチラーキング・クーリングロール、火入れ工程でムラなく急加熱するプレートヒーターと瓶詰め後の冷却装置などを設備しました。「この3回の設備投資はいずれも、ものづくり補助金を活用しました。これで原料から製造、出荷まで一連の流れの中で付加価値の高い商品づくりを行うための主だった設備投資ができました」と伊藤敬一郎社長は笑顔で話します。



火入れ装置「プレートヒーター」



井水受水槽とポンプユニット

## 背骨は決して変えてはいけない

同社は1923(大正12)年、地元有志6人が出資し「株式会社」として創業。代々その子孫が経営に参画し、伊藤社長の生家もその一つです。

就職氷河期世代の伊藤社長は大学卒業後、就職先がないまま帰郷。デイサービスの運転手などとして働いた後、同社に入社しました。「子どもの頃、蔵に遊びに来てはいましたが、酒造りはまったくの素人。しかも、おちょこ一杯飲めない下戸(笑)」。配達や営業をしながら酒造りを一から学び、祖父が3代目社長を務めていた縁もあり20年ほど前、29歳で5代目社長に就任しました。



ワイン酵母  
純米吟醸酒「&W」

就任後すぐにリーマンショック。そして新型コロナパンデミック時には製造量を6割ほどに削減し、社員の解雇はせず耐え抜きました。コロナ禍終盤の2023年は創業100周年の節目。伊藤社長はコロナ禍を奇貨として、社員と連日詰めてとことん話し合い、酒質やブランディングなどの見直しを行いました。それが功を奏し、コロナ後いち早くスタートダッシュをかけ、業績好調が続きます。

今、注目を集めているのがワイン酵母で造った日本酒。「もともとインバウンド向けに取り組んだ商品ですが、低アルコールで飲みやすく地元の皆さんに喜ばれ、1,600本が1週間足らずで売り切れ。これも設備投資のおかげで、うれしい誤算でした」。

伊藤社長が強調するのは、100年守り続ける手づくりと甘口の味わいの蔵としてのポリシーです。「背骨は決して変えてはいけない。当社のラインナップは、ワイン酵母純米吟醸酒も含め、すべて米の甘さをいろいろな造り方で表現しているんです」。



新しいラベルのラインナップ

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金第18次採択企業

北安醸造株式会社

代表 代表取締役社長 伊藤 敬一郎

従業員数 7名

創業 1923(大正12)年10月

本社 大町市大町2340-1

資本金 1,000万円

TEL/FAX TEL.0261-22-0214 FAX.0261-23-4834

## 組合設立の経緯

昭和49年、共同車検事業を実施するため飯山自動車協業組合は設立されました。設立当時は、車検有効期間の変更計画等が発表されたこともあり、車検需要の減少を危惧した地域の同業者14者が生産性の向上、経営の合理化、規模のメリットを活かし安定した収益を確保するために協業化を図りました。

現在では、道路運送車両法に定められる350ccバイクから大型車両まで幅広い車種の車検を可能としており、年間3,500台以上の車検整備を実施しています。



組合外観

## 車検予約システムの導入

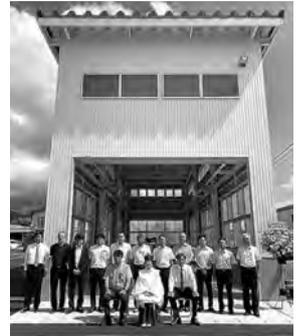
平成19年、業界内に先駆けて車検予約システムを導入しました。組合員と車検受入れ状況を共有し、生産性を高めたことが認められ、平成20年には経済産業省の「IT経営実践組織」として認定されました。

車検予約システムによる車検受入れ状況の見える化に取り組んだことにより、時季による車検入庫台数のバラつきを抑え業務を平準化することで、作業効率の向上、残業時間の削減、利益率改善と組合の運営体質も向上しています。利用率を組合員へフィードバックすることで、業務平準化への意識醸成を行っています。

## 新大型車検工場竣工！

令和6年8月、大型車検専用の新工場を竣工しました。新工場建設のきっかけは、組合員さんから大型車の車検をもっと受けてほしいという要望。競合となり得る大型車の民間車検工場が付近にないこと、地域での大型車検ニーズの高まりなど丁寧な調査を行うとともに、大型貨物や小型貨物と言われる1ナンバーと4ナンバーの車は、1年に1度の車検が義務付けられていることから、車検頻度が高く利益率が良いことも後押しとなりました。

少子高齢化が進行し自動車の乗り手が減っていくなど経済情勢が大きく様変わりする中、需要のある大型車両の車検を通して、組合運営の安定化を図っていく考えです。現在、5か年計画で100台増を目指し活動していますが、すでに1年度目の20台増をクリアできる水準にあり、順調な稼働をみせています。



新工場の前での記念撮影

## 若手人材育成「Switch」部会

約20年前に組合員の後継者を集めたビジョン策定委員会を前身に、様々な変遷を経て、現在では理事会の下部組織として「Switch部会」として活動しています。人も時代も変えていきたいという希望を込めてSwitchと命名され、部会名に若手後継者の思いが込められています。

組合の経営状況の把握をはじめ、組合の役割や置かれている立場など、様々な視点から組合に対し提言を行うことを活動内容としており、時代も人も変化が激しい現代において、後継者が自ら考える組織として重要な役割を担っています。



活発な議論を行う「Switch部会」

## 今後の展望

「組合員のための指定車検工場として、組合員ファーストで事業に取り組んでいきたいです。新たな設備投資も行ったため、設備の稼働率を向上させ、ニーズの増えている小型貨物や大型車両の車検整備に取り組んでいくことはもちろん、効率アップ、残業削減、利益率アップの好循環を続けられるよう、ビジネスチャンスを見逃さず、組合一丸となって組合事業を推進していこうと思っています」と小出和博代表理事は話されました。

代表理事：小出 和博

設立：昭和49年9月7日

住所：飯山市大字飯山5251番地1

TEL：0269-62-4826



小出和博代表理事(右)と丸山勝広専務理事(左)

車社会を支える地域になくってはならない車検工場です。車の性能が向上する中、設備面・技術面ともにレベルアップしていきたいです。

# わが社の経営戦略

## 民芸旅館深志荘

(松本ホテル旅館協同組合・組合員)



Vol.40

いくつもの転機に果敢に挑戦し乗り越える気概を受け継ぎ、生き残りの術とする「旅館と料理」で地域、そして世界から評価を集める。



### 代々続く旅館業をぜひ続けたい

「たとえ一時は厳しくても、決してめげない。何とか乗り越えていくという気概がある。それは豪傑だった曾祖父(初代)から受け継ぐ、当家の気質なんだろうと思います」。



松本民芸家具でくつろげるロビー

春、約4千本もの桜が咲き競う松本市の弘法山古墳に隣接した住宅街の中に建つ、民芸旅館深志荘。その4代目、中澤伸友社長の明るく元気な話しぶりに引き込まれます。

松本近郊の地粉を使った手打ちそばをはじめ、和を基本とする料理のおいしさに定評がある料理旅館。宿泊はもとより、宴会や各種会席、仕出し等のニーズにも応えています。

同社は1916(大正5)年、薪炭を扱う燃料店として創業。その後、当時有数の繁華街だった六九商店街で銭湯を開業し、さらに商都松本に訪れる商人向けに旅館を併設しました。祖父母(2代目)が2号店として松本城近くに「旅館深志荘」を出店。こちらも商人宿として長くにぎわいました。

大きな転機が訪れたのは1990年代に入ってから。一帯の区画整理事業により、閉業か移転かを迫られたのです。「代々続く旅館業をぜひ続けたい」。経営を担っていた両親(3代目)は移転先を探して奔走。1年余り後の1992(平成4)年7月、ようやく開業にこぎ着けたのは一面セロリ畑が広がっていた同市並柳の現在地でした。当時、東京の大学生だった中澤社長は「松本駅から真っ暗な道を迷子になりながらたどり着いた。ずっと市街地に住んでいただけに、都落ちした気持ちでしたね」と笑いながら振り返ります。

### 世界各国からのインバウンドに対応

開業時にちょうど重なったのが、1993年ジャスコ南松本店(当時)を皮切りに始まる大型店の出店ラッシュ。建築職人を中心に大勢の宿泊客を受け入れ、3年後には増築も。ところが2001年の「脱ダム宣言」で県内の公共工事が激減し、一転、方向転換を迫られます。

取り組んだのが「料理」へのシフト。元ホテルの洋食

シェフだった先代(父)と、大学卒業後に調理師免許を取得し1997年に入社していた中澤社長が手を携え、和と洋を混合した創作料理に力を入れます。地域の慶弔会席や大小宴会などを積極的に取り込み、手打ちそばが看板商品になったこともあり、飲食の売上げが宿泊を上回るように。ランチや仕出しも始め、幅広い商品ラインナップを揃えました。



信州産にこだわった会席料理

そこを襲ったのが、新型コロナウイルスの流行。コロナ禍直前の2018年に社長に就任していた中澤社長は「料理人の手を止めたくない」との思いから、量販店等にかけてあい、「深志荘」ブランドの弁当を販売しました。さらに山賊焼きキッチンカーをつくり積極的に販売活動も展開。どちらも売上げにはあまり貢献しませんでした。新規取引先の開拓につながり、苦境にも頑張る姿をアピールしました。

宿泊業としては、コロナ禍以前から力を入れてきた、ヨーロッパを中心に世界各国から訪れるインバウンド対応に注力。中澤社長は「6月の閑散期でもインバウンド比率は半々ぐらい。ベジタリアン、ビーガン、グルテンフリーには対応しますが、料理は基本的に日本人客と同じ。それがまた受けています」。そしてこう続けます。



中澤伸友代表取締役社長

「旅館と料理がうちの生き残る術。インバウンド対応も含め、それが今うまく合致していると思います」。

代表	代表取締役社長	中澤 伸友
創業	1916(大正5)年	
従業員数	30名	
本社	松本市並柳2-11-21	
	TEL: 0263-28-6500	FAX: 0263-28-6868
事業内容	宿泊サービス・宴会、催事の受注・仕出し・物販等	

# GO! 発酵バレー-NAGANO

Vol.6

長野県漬物協同組合



## 発酵食品としての漬物

### 漬物は古代の中国が発祥

中国の紀元前3世紀の古文書に最も古い漬物の記述があります。最初は野菜を保存するため。それが発酵を伴ったことで様々な発展を遂げます。例えば、魚の塩漬けから魚醬が、豆の塩漬けから味噌や醤油が生まれました。

日本では8世紀に初めて漬物の記録が登場します。大陸から伝わったものと言われています。

### 長野県の漬物文化

冬に野菜が育たない寒い長野県では、野菜を保存するための豊かな知恵が生まれました。

東西南北に広く、山や谷があり、起伏に富んだ地形とそれぞれの気候が育む様々な伝統野菜の恩恵をうけ、長野県の漬物文化はひときわ多様性に富んでいます。

### 漬物組合の歴史

長野県漬物協同組合は昭和17年に発足し、83年の歴史を刻んできました。その設立は戦時下の食料統制の一環として国の指導によるもので、当初432名の会員が集まりました。漬物事業には塩が欠かせませんが、専売品であり、戦時中は配給制であったため、組合への加入は不可欠だったと想像します。個人事業主が多かったとはいえ、432名とは驚きです。現在では組合員数は52社、6支部で構成されています。

漬物は、昔から地域の食文化として定着していましたが、戦後の高度経済成長とともに工場生産したものが全国へ流通するようになりました。「スキーで訪れた民宿で食べた野沢菜漬の味が忘れられない」というような、観光による長野県のイメージアップとの相乗効果と、通年供給へのメーカーの並々ならぬ努力が実っ

て飛躍的に消費量は増え、平成7年まで長きにわたって生産量日本一に君臨しました。

### 健康効果が注目

一方近年では、健康志向の高まりとともに低塩化が進み、発酵食品でもある漬物の健康効果があらためて注目され始めています。生きて腸まで届く植物性乳酸菌を持つ漬物はいわゆる腸活に最適な食品です。豊富な食物繊維と乳酸菌は、胃腸を整え免疫力を高め健康長寿に導きます。

長野県は既に長寿県として確固たる地位を築いていますが、摂取しすぎると体に悪いとされる塩や砂糖の消費量がとても多いのも事実。この謎には、塩の成分であるナトリウムを体外に排出する作用のあるカリウムを含む野菜の摂取量がトップであることが関係しています。体内の塩分を上手にコントロールする先人の智慧に驚くばかりです。

### 発酵バレー-NAGANOへの期待

長野県の漬物業界は、現在もなお全国で上位の生産量を誇っています。しかし食生活が多様化する中でここ数年は減少傾向にあります。

漬物は言いかえると発酵保存食。野菜の乏しい長野の冬に、必要な野菜を摂取するために培われた食文化です。これを後世につなぎ、魅力を広く伝えていくのは私たちの使命です。

「発酵バレー-NAGANO」は県内の他の発酵食品、調味料団体とも連携し、発酵長寿県として認知度のアップ、また海外やインバウンドの展開など、単独では難しいことも、他の業界との連携、協力により、実現の可能性が高まるものと期待しています。

理事長：古越 三幸

設立：昭和17年6月5日

TEL：026-229-6775

MAIL：tsukemono@ngn.janis.or.jp

住所：長野市栗田西番場205-1

(一社)長野県食品工業協会内



理事長 古越 三幸

漬物は今では低塩分のものが主流となり、植物性乳酸菌をはじめとする多くの健康機能がある健康食品であることが分かってきました。皆さん漬物食べて健康寿命を延ばしましょう。

## 改正のポイント

2023年4月1日から中小企業の月60時間を超える時間外労働に対する割増賃金率が、50%に引き上げられました。給与計算ソフトなどをお使いの会社はすでに変更されていると思いますが、改めて確認してみましょう。

	1か月の時間外労働 (1日8時間・1週40時間 を超える労働時間)	
	60時間以下	60時間超
大企業	25%	50%
中小企業	25%	50%

## 深夜・休日労働の取り扱い

月60時間を超える法定時間外労働に対しては、使用者は50%以上の率で計算した割増賃金を支払う必要があります。

## 深夜労働との関係

月60時間を超える時間外労働を深夜（22:00～5:00）の時間帯に行わせる場合、深夜割増賃金率25%+時間外割増賃金率50%=75%となります。

## 休日労働との関係

月60時間の時間外労働の算定には、法定休日に行った労働時間は含まれませんが、それ以外の休日に行った労働時間は含まれます。法定休日労働の割増賃金率は、35%です。

## 代替休暇

月60時間を超える法定時間外労働を行った労働者の健康を確保するため、引き上げ分の割増賃金の支払いの代わりに有給の休暇（代替休暇）を付与することができます。

## 就業規則の変更

割増賃金の引き上げに合わせて、就業規則（賃金規程）の変更が必要となります。

〈就業規則の記載例〉

（割増賃金）

第〇条 時間外労働に対する割増賃金は、次の割増賃金率に基づき、次項の計算方法により支給する。

（1）1か月の時間外労働の時間数に応じた割増賃金率は、次のとおりとする。この場合の1か月は毎月1日を起算日とする。

- ① 時間外労働60時間以下・・・25%
- ② 時間外労働60時間超・・・50%

（以下、略）

# 令和6年度 障害者の職業紹介状況〔長野労働局〕

(長野労働局は、令和7年6月26日に「令和6年度 ハローワークを通じた障害者の職業紹介状況」をとりまとめ公表しました。)

県内のハローワークを通じた障害者の就職件数は、対前年度比10.2%増加の2,660件となり、**4年連続で増加しました。**

## 【ポイント】

- 新規求職申込件数は、5,612件で、対前年度比8.2%増加(前年度5,188件)。
- 就職件数は、2,660件で、対前年度比10.2%増加し、4年連続過去最多を更新(前年度2,413件)。
- 就職率(就職件数/新規求職申込件数)は47.4%で、対前年度比0.9ポイント増加。

## 【障害種別の状況】

	新規求職申込件数	(前年度比)	就職件数	(前年度比)
・身体障害者	1,073件	(8.1%増)	444件	(1.1%減)
・知的障害者	791件	(5.0%増)	430件	(7.0%増)
・精神障害者	3,448件	(9.3%増)	1,647件	(11.7%増)
・その他障害	300件	(4.9%増)	139件	(58.0%増)
・合計	5,612件	(8.2%増)	2,660件	(10.2%増)

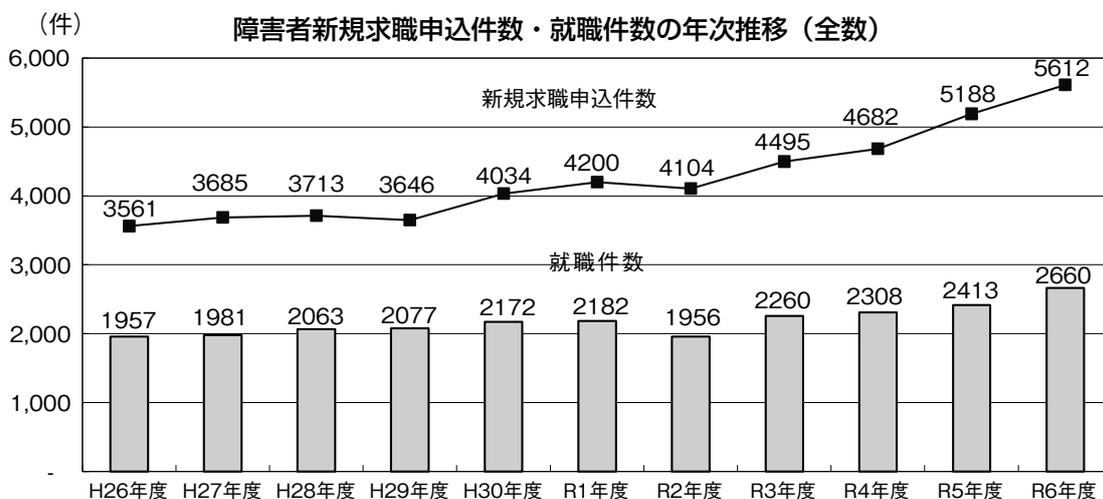
※「その他障害」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難治性疾患患者等である。

- 産業別の就職状況では、「医療・福祉業」(799件30.0%)、「製造業」(528件19.9%)、「サービス業」(444件16.7%)、「卸・小売業」(293件11.0%)での就職件数が多い。
- 職業別の就職状況では、「運搬・清掃・包装等」(617件23.2%)、「事務的」(529件19.9%)、「サービス」(464件17.4%)、「生産工程」(401件15.1%)での就職件数が多い。

## ■概況

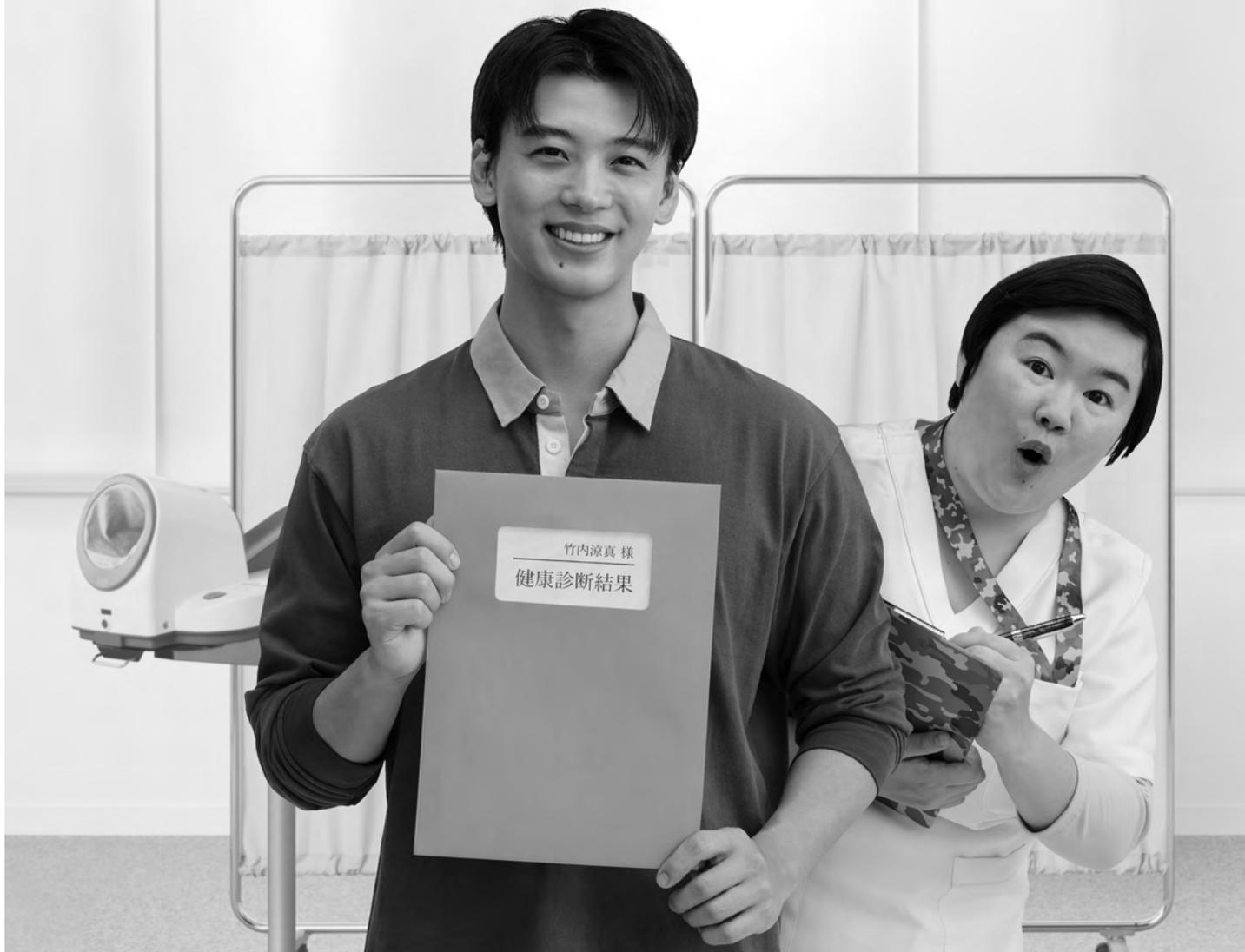
(件、人、%、%ポイント)

	①新規求職申込件数		②有効求職者数		③紹介件数		④就職件数		⑤就職率(④/①)	
	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度比	前年度差		
H26年度	3,561	4.4	5,165	△ 1.7	8,314	△ 6.4	1,957	9.2	55.0	2.4
H27年度	3,685	3.5	4,858	△ 5.9	7,844	△ 5.7	1,981	1.2	53.8	△ 1.2
H28年度	3,713	0.8	5,501	13.2	8,015	2.2	2,063	4.1	55.6	1.8
H29年度	3,646	△ 1.8	5,655	2.8	7,562	△ 5.7	2,077	0.7	57.0	1.4
H30年度	4,034	10.6	5,744	1.6	7,590	0.4	2,172	4.6	53.8	△ 3.2
R1年度	4,200	4.1	5,670	△ 1.3	7,949	4.7	2,182	0.5	52.0	△ 1.8
R2年度	4,104	△ 2.3	6,568	15.8	7,840	△ 1.4	1,956	△ 10.4	47.7	△ 4.3
R3年度	4,495	9.5	6,714	2.2	8,300	5.9	2,260	15.5	50.3	2.6
R4年度	4,682	4.2	6,862	2.2	7,674	△ 7.5	2,308	2.1	49.3	△ 1.0
R5年度	5,188	10.8	7,088	3.3	8,154	6.3	2,413	4.5	46.5	△ 2.8
R6年度	5,612	8.2	7,817	10.3	9,069	11.2	2,660	10.2	47.4	0.9



障害者の法定雇用率が段階的に引き上げられます。(令和6年4月以降)			
	令和5年度	令和6年4月	令和8年7月
民間企業の法定雇用率	2.3%	2.5%	2.7%
対象事業主の範囲	43.5人以上	40.0人以上	37.5人以上

# 健康で保険料がおトクに!



健診結果を出し、条件を満たせば、  
保険料がお得になるかも!

※健康自慢(健康体料率(特約用))を付加できる保険は、大樹セレクト(無配当保障セレクト保険)です。健康自慢の付加にあたっては、所定の要件があります。  
※ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」をご覧ください。

大樹生命保険株式会社 松本支社 〒390-0811 長野県松本市中央 1-21-8 TEL:0263-34-3585 <https://www.taiju-life.co.jp/>  
長野営業部 TEL:026-226-2820 松本営業部 TEL:0263-35-8519 飯田営業部 TEL:0265-24-4980 諏訪営業部 TEL:0266-52-1356  
あづみ野営業部 TEL:0263-84-0256 東御営業部 TEL:0268-64-5413 佐久営業部 TEL:0267-62-0358 上田営業部 TEL:0268-24-2755

R-2024-1008(2024.10)

よりそう保険。  
大樹 Taiju Select セレクト

無配当保障セレクト保険

健康診断などの結果をご提出いただき、付加条件を満たしている場合に、健康自慢を付加することで対象特約の保険料がお安くなります。

# もっともっと、 できる商工中金へ。



もっと、お客さまのニーズに応えることができる。もっと、新しいことにチャレンジできる。  
それぞれが個性を活かし、未来に向かって、もっともっと「できる商工中金」へ。

企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。  商工中金

長野支店 〒380-0814 長野市西鶴賀町1483-11  
諏訪支店 〒392-0026 諏訪市大手1-14-6  
松本支店 〒390-0811 松本市中央2-1-27

TEL:026-234-0145  
TEL:0266-52-6600  
TEL:0263-35-6211

長野県内の中小企業の皆さん！情報セキュリティ対策してますか？

プラスアルファ  
+α

# 情報セキュリティ5か条

- 1 OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう！
- 2 ウイルス対策ソフトを導入しよう！
- 3 パスワードを強化しよう！
- 4 共有設定を見直そう！
- 5 脅威や攻撃の手口を知ろう！

出典：情報処理推進機構「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン第3.1版」

## プラスアルファ 長野県警察から+αのお願い

- 6 バックアップを取り、ネットワークから切り離して保管しよう！
- 7 通信ログを記録、保存しよう！

長野県警察本部 生活安全部 サイバー捜査課

☆働きやすい職場環境づくり  
「企業の社会的責任（CSR）」を果たすとともに「あらゆる差別の撤廃と人権教育の推進」に邁進しましょう。

地球に優しい企業人の皆様へ  
“あなたにもできる。”  
ライフスタイルの見直しで、  
1人1日1kgのCO<sub>2</sub>削減”

簡単管理 全額非課税 掛金助成  
退職金は、国の制度を賢く活用

中退共  
小企業  
職金  
積制度

「中退共」で検索！

(独)勤労者退職金共済機構  
中小企業退職金共済事業本部  
TEL (03) 6907-1234

知恵と力を合わせて信州を元気に

## 月刊 中小企業レポート

MONTHLY REPORT

2025

8

No.585

第585号 令和7年8月10日発行

発行人 井出 康弘

発行所 長野県中小企業団体中央会  
長野市中御所岡田町 131-10  
長野県中小企業会館内 4F  
TEL.026-228-1171

印刷所 カシヨ株式会社

65歳で再雇用が  
終わる従業員から  
もう少し働きたいと相談があった。  
今までの経験を活かせる  
再就職先はないかな？

一時的に社員の  
仕事なくなってしまう。  
そんな時どうすれば  
いいの？

採用って難しい。  
当社に合う人を紹介  
してくれたら  
助かるのに。

## 雇用の問題 お悩み解決のための サポートをします！

ハラスメント防止など  
セミナーの必要性は  
感じているが、  
なかなか手が回らない。

他社に出向して  
広い視野を持ってもらい、  
当社の業務改善に  
つなげたい。

早期退職を  
募らなくてはいけなくなった。  
従業員の次の就職先を  
見つけたい。

安心のサポート

そうだと  
相談してみよう

下記の都道府県事務所にお問い合わせ下さい

## 産業雇用安定センターとは？

1987年(昭和62年)労働省(当時)、日経連、産業団体などが協力して、  
「失業なき労働移動」を支援する公的機関として設立。

以来30余年にわたり、再就職・出向などによる企業間の労働移動をサポートしています。



全国の労働局・  
ハローワークと  
連携



全国  
47都道府県に  
事務所を設置



相談・紹介・  
仲介・斡旋の  
費用は無料



設立以来、  
26万人の  
再就職・出向の  
支援実績



1人の求職者に  
一人の  
コンサルタントが  
マンツーマンで  
サポート

お問い合わせ先

公益財団法人 産業雇用安定センター (ジョブ産雇) 長野事務所

〒380-0921 長野市栗田 2125 長栄長野東口ビル 3階

TEL 026-229-0555 FAX 026-229-0333

ご利用時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

<https://www.sangyokoyo.or.jp>

ジョブ産雇

検索

